

11 疾病団信 生活習慣病団信<入院プラス> の特徴

一般の団体信用生命保険の保障内容(死亡・所定の高度障害状態)に加え、



サポートサービス付です。



24時間電話健康相談サービス

24時間・年中無休で、経験豊かな医師、看護師、保健師等相談スタッフがサポートさせていただきます。

- 育児相談
- 健康相談
- メンタルヘルスの相談
- 医療機関情報提供

セカンドオピニオンサービス

主治医以外の医師に、診断や治療方針について第三者的な視点から意見を聞くことができます。

総合相談医の判断により、より高度な専門性が求められる場合には、最適な優秀専門医をご紹介します。

※24時間電話健康相談サービスは、住宅ローン借入者とそのご家族が利用できます。
※セカンドオピニオンサービスは、住宅ローン借入者限定のサービスです。

病気やけがで入院が連続して

5日以上となった場合
ローン返済期間を通じて最大12回支払われます。

31日以上となった場合
以降も入院が継続して30日に達するごとに1回の入院あたり最大5回、ローン返済期間を通じて最大36回支払われます(ボーナス分も含まれます)。

※ご融資日(責任開始日)以後に発生した傷害または発病した所定の疾病を直接の原因とする入院が対象となります。

10万円 月々の住宅ローンのご返済額をお支払いします

配偶者ががんと診断確定されたら

配偶者が、ご融資日(責任開始日)からその日を含めて90日経過後に、がん(所定の悪性新生物)に罹患したと診断確定された場合、一時金として100万円が支払われます。

使い道は自由 **100万円**

※「上皮内がん」および「皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん」は、お支払いの対象となりません。※責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)以内にがん(所定の悪性新生物)と診断確定された場合には、がん診断給付金は支払われません。※お支払いは1回のみとなります。

がんを原因とする先進医療の療養を受けたら

通算1,000万円が支払われます(1回の先進医療につき500万円を限度)。

通算 **1,000万円**

※対象のがんと診断確定された日から1年以内に所定の先進医療の療養を受けた場合に支払われます。

10種類の生活習慣病で180日以上継続して入院となったら

【対象となる生活習慣病】糖尿病・高血圧性疾患・腎疾患(慢性腎不全等)・肝疾患(ウイルス肝炎・肝硬変等)・慢性肺炎・脳血管疾患(脳卒中等)・心疾患(急性心筋梗塞・心筋症等)・大動脈瘤および解離・上皮内新生物・皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん

※ご融資日(責任開始日)以後に発病した所定の生活習慣病を直接の原因とし、その治療を目的とした入院が継続して、180日以上となった場合に保険金が支払われます。

住宅ローン残高が0円

がんと診断確定されたら

・ご融資日(責任開始日)からその日を含めて90日経過後に、がん(所定の悪性新生物)に罹患したと診断確定された場合、**がんの進行程度にかかわらず、診断確定時点の住宅ローン残高相当額が保険金として支払われ、住宅ローン残高が0円になります。**

・保険金が支払われて残高が0円になった住宅ローンは、**がんが治った後に、住宅ローンの支払いが再開することはありません。**

※「上皮内がん」および「皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がん」は、お支払いの対象となりません。
※責任開始日からその日を含めて90日(免責期間)以内にがん(所定の悪性新生物)と診断確定された場合には、がん診断保険金は支払われません。

医師の診断書等で保険会社に
余命6か月以内と判断されたら

がんの基礎知識 01 がんの罹患リスク

男性・女性ともにおよそ2人に1人はがんになる可能性があります(出典①)。

がんに罹患する方は、年間100万人を超えています(出典②)。

男性 **65.5%**
女性 **50.2%**

出典①:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2021」年齢階級別罹患リスク(2017年罹患・死亡データに基づく)
出典②:国立研究開発法人国立がん研究センター「2021年のがん統計予測」

がんの基礎知識 02 がんの部位別罹患状況

	男性		女性		
部位	罹患数	割合	部位	罹患数	割合
1位 前立腺	9.5万人	16.5%	乳房	9.4万人	21.9%
2位 胃	9.0万人	15.6%	大腸	6.8万人	15.7%
3位 大腸	8.8万人	15.4%	肺	4.2万人	9.7%
4位 肺	8.5万人	14.8%	胃	4.0万人	9.4%
5位 肝臓	2.7万人	4.7%	子宮	2.8万人	6.6%

女性特有のがんも対象

出典:国立研究開発法人国立がん研究センター「2021年のがん統計予測」

がんの基礎知識 03 全がんの臨床病期別5年相対生存率

早期発見の場合、相対的に生存率が高くなります。

全体平均 **68.6%**

ステージI: 93.2%
ステージII: 82.0%
ステージIII: 55.8%
ステージIV: 22.9%

出典:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2021」全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率(2010~2012年診断例)

がんの基礎知識 04 がん罹患後の就労状況の変化(お勤めの方)

がん罹患後に、勤務先を退職する方も珍しくありません。

現在も勤務している **47.6%**
退職中である **8.7%**
解雇された **4.2%**
依願退職した **30.5%**
43.4%の方は収入が減少してしまいます

その他 **9.0%**

出典:厚生労働省「がんの社会学」に関する合同研究班がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書(概要版)より

がんの基礎知識 05 がん先進医療の費用

先進医療の費用は、公的医療保険制度の給付対象にならないため、高額に及ぶことがあります。

がん先進医療の平均費用

治療法	平均費用
重粒子線治療	約308万円
陽子線治療	約269万円

※先進医療にかかる費用は、医療機関によって金額が異なります。また、医療費の自己負担割合や自己負担限度額は年齢や所得によって異なります。
出典:厚生労働省「先進医療の実績報告について」令和元年度実績報告より

生活習慣病の基礎知識 01 生活習慣病の患者数

おもな生活習慣病	患者数
悪性新生物	178万人
糖尿病	329万人
高血圧性疾患	993万人
心疾患(高血圧性疾患除く)	174万人
脳血管疾患	112万人
肝疾患	41万人

生活習慣病とは、「日々の生活習慣(食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣)が、その発症・進行に関与する疾患群」のことです。

出典:厚生労働省「患者調査の概況(2017年)」

生活習慣病の基礎知識 02 おもな病気やけがの平均入院日数

生活習慣病以外にも日常のさまざまな病気やけがで入院する可能性があります。

全体の平均入院日数 **29.3日**

傷病名	平均入院日数
ぜんそく	8.6日
盲腸(虫垂の疾患)	9.2日
過敏性腸症候群	10.5日
胃潰瘍	17日
肺炎	27.3日
骨折	37.2日

出典:厚生労働省「患者調査の概況(2017年)」

実際に罹患された方の声

勤務先や同僚の理解が得られず、**高額な治療費と減少する収入に悩む方が多いようです。**

出典:東京都福祉保健局「がん患者の就労等に関する実態調査」(2019年3月)より

癌治療は高額なので経済的負担はかなり大きく、今後不安がある。

病気治療のため、欠勤となることも多く、収入も減少する場合も多い。

病気になったから仕事ができないんじゃないかと、かわいそうで仕事に頼めないなど偏見なことを言われるのが一番傷つく。

治療にかかる費用(検査や薬代)が高すぎる。保険点数の見直しをしてほしい。家計負担が大きすぎます。